

4－5 道路・交通

国や県の道路整備との一体性を持った村道整備により、円滑な自動車移動と歩行者の安全確保を図ります。また、公共交通については、飛島バスの運行方法等の改善により利便性を高め、住民や勤労者の移動手段として恒久的な維持存続を目指します。

○施策体系

- (1) 幹線道路の整備
- (2) 生活道路の維持管理
- (3) 地域交通の利用促進

(1) 幹線道路の整備

【施策の目標】

村道整備計画に基づく道路整備により、円滑な移動と歩行者の安全を確保します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
幹線道路の歩車道分離率	43%	43%	85%

□ 主な取り組み

○ 道路の整備促進

住民からの直接要望や地区要望を踏まえ、移動しやすく安全な道路の整備を国や県に働きかけます。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
道路整備事業（建）	107020210	歩道設置や道路拡幅などの道路整備計画を策定する
道路整備事業（建）	107020210	村内の幹線道路について、整備計画に基づき歩車道分離等の整備を行う
道路整備事業（建）	107020210	国道 302 号の工事進捗と歩調を合わせ整備工事を推進する
道路整備事業（建）	107020210	住民からの直接要望及び地区要望の収集

【計画指標②】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
橋梁の耐震化率	0%	46%	60%

□ 主な取り組み

○ 災害に強い道路整備

地震や集中豪雨に対する不安の少ない道路を整備します。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
道路維持管理事業（建）	107020110	村道に架かる橋梁について耐震補強工事を実施し、震災被害を軽減する

【現状と課題】

- ・ 通勤・帰宅時における臨海部の慢性的な渋滞
- ・ 生活道路における通過交通の排除
- ・ 橋梁の耐震補強
- ・ 歩行者の安全確保のための歩道と車道の分離、安全性の高い歩道網の整備
- ・ 都市計画道路の整備に合わせて接続する村道を一体的に整備、補修することが必要

(2) 生活道路の維持管理

【施策の目標】

村道の路面舗装、植栽帯の管理などを徹底し、安全で快適な道路を整備します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
生活道路における維持管理箇所の事業着手（箇所数）	10 箇所	28 箇所	23 箇所

□ 主な取り組み

○生活道路の維持管理の推進

道路の安全性・快適性の高い村道にするために、定期巡回を進めるとともに、計画的な維持管理を行います。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
道路維持管理事業（建）	107020110	村道を安全で快適に利用できるよう、舗装の破損及び危険箇所の補修や植栽の管理を行う
道路整備計画（建）	新規事業	村道の計画的な維持管理のため、道路修繕計画の策定を行う
臨時作業員雇用事業（建）	107020120	臨時作業員による道路の巡回及び維持管理作業を実施する

【現状と課題】

- ・ 安全で快適な村道の維持管理
- ・ 道路の里親制度（道路の清掃（ゴミ拾い）や除草、花壇の手入れ等）の活用

(3) 地域交通の利用促進

【施策の目標】

利用しやすい交通システムをつくとともに、住民の積極的な利用を促し、地域交通の持続性ある運営を目指します。

【計画指標①】

指標名	計画策定時	実績値	目標値
	2011 年度	2016 年度	2022 年度
公共交通（路線バス）の利用者数	225,806 人	264,854 人	275,000 人

□ 主な取り組み

○ 利用拡大に向けた取り組みの推進

住民・企業のニーズを反映し、通勤・通学に利用しやすい運行方策等の検討を行います。

□ 関連する事業

名称	コード	具体的内容
公共交通バス利用促進事業（企）	102010680	補助制度見直しへの対応、住民・企業ニーズを反映し、通勤・通学に利用しやすい運行方策等の検討
		利用者の利便性向上のためのバス停増設
		サイクル&バスライドの推進
		バス停までの安全な歩行ルートの検討・確保

【現状と課題】

- ・ 超高齢社会に対応した村内移動システムの形成
- ・ 村内外における通勤・通学者の増加への対応
- ・ 2020（令和2）年10月に飛島バスを増便
- ・ 交通系 IC カードを導入し、利便性を高めることが必要